



## モンゴル国で初めての子どもに対する知能検査の開発 ～ アジア発達障害児支援研究 ～

名古屋大学心の発達支援研究実践センターの発達障害分野における治療教育的支援事業（野邑 健二 特任教授：チームリーダー、福元 理英 特任助教、若林 紀乃 研究員）では、モンゴル国立教育大学との共同研究で、モンゴル国における初めての標準化された知能検査を新たに開発しました。

本研究チームは、2013 年からモンゴル国において発達障害児支援研究事業を展開しています。2016 年にはモンゴル国立教育大学内に「名古屋大学モンゴル国立教育大学子ども発達共同支援センター」を開設し、モンゴル国における発達障害児支援の拠点として、実践、研究、人材育成、啓発を中心とした事業展開を行っています。

本事業の一環として2016年より、モンゴル国立教育大学、JICA(国際協力機構)と協働で、わが国で広く使用されている知能検査である田中ビネー知能検査のモンゴル版開発を行ってきました。

知能検査の開発により、正確に子どもの状況を知ることができ、一人一人に合った教育、福祉支援を行う体制構築が行われることが期待されます。

2020年9月11日に、知能検査モンゴル版開発とその意義を広め、検査の普及を目指した記念式典が、モンゴルと名古屋大学をオンラインで結んで行われます。

### 【ポイント】

- ・モンゴル国の発達障害児支援システム構築を目指した共同研究を実施しています。
- ・モンゴル国で初めてとなる子どもに対する知能検査モンゴル版を開発しました。
- ・2020年9月11日に、知能検査モンゴル版開発記念式典を、モンゴルと名古屋大学をオンラインで結んで開催します。

